

# 和地ひとみレポート No.105

## 平成 25 年東大和市議会第 4 回定例会：一般質問③『音楽の街、東大和』について 市から市民に発信することの重みは？



### ■いつから『音楽の街』になったのか

…12月3日から開催されていたH25年東大和市議会第4回定例会において、和地ひとみは以下の3つのテーマについて一般質問をおこないました。

#### ① 学校給食センター建設について

・6月議会で建設予算の見積について精査する必要があることを確認し、5ヶ月が経過した。

⇒その後の対応は。

⇒建設計画の現状と今後の進め方、課題は。

※内容については12月8日号に掲載

#### ② 東大和市の教育費について

・都内の他自治体と比較しての当市の状況は。

・現状を踏まえて、総行政費に対する教育費の比率を見直す可能性の有無について。

・教育費の不足により、目指すべき教育内容が実現できていない、もしくは遅れているものはあるか。

※内容については12月15日号に掲載

#### ③ 『音楽の街、東大和』について

・いつから当市を『音楽の街』と位置づけたのか。また、その理由は。

・『音楽の街』としての今後の取組は。

・『音楽の街』と位置づけることによって、市全体として目指す姿や効果はあるか。

…最近、様々な場面で『音楽の街、東大和』というフレーズを目にしたたり、耳にする場面があります。この発信元は教育委員会ですが、市が市民に向けて発信する文書や様々な催し物の開会式などで公に発せられる『音楽の街、東大和』というのは、どのような位置づけで扱われ、どのように発展させていこうと考えているのかわかりません。そこで、市として『音楽の街、東大和』と発信していることについて確認したく、このテーマを取り上げました。

…まず、いつから当市を『音楽の街』と位置づけたのか、また、その理由について確認したところ市長からは「市内の中学校、高校の吹奏楽部が各種の大会で力を発揮し、結果を出していることは市民の皆様にも明るい話題として伝わっている。また、東大和市少年少女合唱団も地域で活動の場を広げている。各吹奏楽部は、これまでも環境市民の集いや、ふれあい市民運動会、東大和産業まつりなど、さまざまな催しや地域行事に出演し、市の活性化に御協力いただいている。今後の活動にさらに期待するところだ。また、音楽に限らず運動や勉強など、子供たちの活躍を通して市全体が元気になるとともに、

地域に愛着を持ってもらい、東大和市民であることを誇りに思ってもらうことが重要であると考えている」との答弁がありました。また、教育長からは「東大和市の子供たちの活躍を多くの市民の皆様にご理解いただくとともに、子供たちが東大和に誇りを持っていただくよう、平成24年12月10日の教育長日記を『音楽の街、東大和』と題し、紹介をさせていただいた」との話があり、今後については「吹奏楽や合唱などの音楽活動を通して、児童・生徒がお互いに切磋琢磨し、多様な場でその成果を発表できることが重要。6月29日には、都内の高等学校3校、他市の中学校1校と本市の第一中学校がハミングホールを会場とし吹奏楽講習会を実施した。参加した各吹奏楽部にとっては、互いに学び合い、高め合えるよい機会となった。教育委員会としては、児童・生徒が自信や誇りを持ち、生き生きと活動できるように、引き続き学校教育を中心として取り組みを支援したいと考えている」との答弁がありました。

### ■『音楽の街』に対する市民のイメージは

…市内の学校が、音楽の分野で賞を受賞するなど様々な活躍をしていることは、和地ひとみも知っているところです。そして、その頑張りを評価し認めることで子ども達が益々自信を持って様々なことに取り組むように後押しをしてあげることも重要だと思えます。

…しかし『音楽の街』と聞いて市民が持つイメージはどんなもののでしょうか。教育の分野だけに留まらず、街全体が音楽を中心に活性化し、市民の結びつきができる一つの重要なものとして音楽を位置づけているというイメージを持つのではないのでしょうか。現に、音楽を街の活性化の中心に位置づけ、学校だけではなく、様々な世代を超えたつながりや活動に役立っている自治体はあります。また、音楽といってもお祭りのお囃子などの伝統芸能、ジャズや気軽に参加できるカラオケまでを網羅し、様々なイベントを開催している自治体もあり、イベントによっては市外からイベントに参加するために多くの人に訪れてもらえるような「音楽祭」的な催しを開催している例もあります。

【裏面につづく】

…現在、東大和市では先の理由で学校の音楽活動を取り上げて『音楽の街、東大和』と発信していますが、先生の入替えや様々な理由で入賞できなくなってしまうと『音楽の街』とは言えなくなってしまうのでしょうか。和地ひとみは、音楽は市の活性化に活かせるものの一つと考えることには賛同しますが、音楽はクラシックに限ったものではありませんし、ましてやコンクールで入賞することで『音楽の街』と名乗れるというものでもないと考えます。市の活性化を目的とするのならば、ジャンルや世代を超えて市民が『音楽を楽しむ』ことで交流し、その結果、様々な効果がでることを目指すべきだと考えます。

## ■市の発信することへの責任は

…今回取り上げた『音楽の街、東大和』の発信元は教育委員会です。

でも、市民が受け取った時に教育委員会だけの取り組みと感じるでしょうか。

そこで、市長部局とはどのような共通認識で取り組んでいるのかを確認しました。

市長からは「私自身は『音楽の街、東大和』は、いいキャッチコピーだなというふうに思っている。今回、教育長が「音楽の街」という言葉を使っているが、行政側からその言葉を使ったわけではなく、市民活動や、子供たちの活動が結果として様々なところで表彰されたこと、そして地域のいろんなところで活動しているということを一っくくして、キャッチコピーという言い方は、ちょっと語弊があるかもしれないが「音楽の街」と使ったということだ。他の自治体は条例を制定するなど、公が一生懸命やっているということだが、私はそういうことは必要ないと思っている。私ども行政がやるというわけではなく、地域の中で、あるいは学校も含めて音楽活動をどんどんしていただければ、それだけでも私ども東大和にとってはいいことだというふうには思っている。」との答弁がありました。

…確かに、市長の言わんとすることは理解できるのですが、では、5年後、10年後も『音楽の街』と言い続けて市民や学校の活動を支援するのか。



伝統芸能も音楽として応援するのか、自分が演奏しなくても音楽のイベントを楽しんで「東大和は音楽のイベントが多く、それで、市が盛り上がっているな」と市民が感じることができるようになるのかと考えてしまいます。

…一時的な「キャンペーン」のような取り組みなら、期間が限定され、目標も明確になり、その成果も測りやすい分、市の取り組みを市民に知らせることは簡単だと思います。しかし、市に『音楽の街』という冠をつけることは、そのような簡単なことではないのでしょうか。少し時間が経って「そういう言えば、ちょっと前は『音楽の街』って言っていたのに、最近は全然そういうことを聞かないね」ということになった時に、市民は行政の発信することにどのような印象を持つでしょうか。行政の発信に対する信頼が薄れてしまうのではないかと思います。

…また、これは老婆心的かもしれませんが、様々な学校の吹奏楽部がコンクールで入賞したから『音楽の街』と言って評価していることに対し、輝かしい結果は出してないけれど、運動や他のことに一生懸命な子ども達に対する評価や配慮、スポットライトを当ててあげる場を作ることも必要ではないかと考えます。

…市長は「キャッチコピーとして良い」との答弁をされていましたが、市が発することは「思いつき」や「ノリ」のようなことではいけない。それを受け取った市民がどのような印象を持ち、何を期待するのか。特に今回のような『街の印象』を動かすようなことは、よくよく考えて発信してほしい。先にも述べたように、音楽を街の活性化に活かすことは良いことですし、様々な可能性が考えられます。また、子ども達を評価し取り上げてあげることも大切です。しかし、それが一過性のことに終わるようなことになると「市が言うことはいつも最初は盛り上がっているが、なんとなく立ち消える」という印象を市民に与える結果になる可能性があり、それは無責任に感じます。ましてや、今後、市民との協働によるまちづくりを目指している当市です。行政側が発することの重みと責任を十分に感じて欲しいと和地ひとみは提言させていただきました。

## 市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

### 「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

#### 【プロフィール】

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

#### ■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>



wachi\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102